

最新版ISO 6452:2021に適合。

フォギングテスター WF-3

夏場閉め切って高温になる自動車内で、内装材（ゴム・プラスチック・繊維・皮革等）から揮発成分が発生し、外気との温度差によりフロントガラス内面等に付着し視界を妨げる現象（フォギング）を促進再現します。



01

ISO 6452 適合の 空気加熱方式

オイル加熱方式と比較して
試験の手間を削減

02

冷却板の正確な 温度制御

冷却板内にセンサーを配置し
ガラス板の冷却温度が正確

03

試験面を 確認しやすい

フロントガラス板の錫引き面
はブラスト加工のマーク付き

ISO 6452:2021※に適合した空気加熱方式

ISO 6452 では従来、試験ピンを加熱する熱媒体として液体(オイル)を使用したオイル加熱方式のみが規定されていましたが、2021年の改正により空気加熱方式が追加されました。ISO 6452:2021 に規定の試験温度 100°C±0.5°C の性能を満足しています。オイル加熱方式と比較して試験ピンや試験機がオイルで汚れることがなく、試験の手間を削減することができます。

※ Rubber- or plastics-coated fabrics — Determination of fogging characteristics of trim materials in the interior of automobiles

オイル加熱方式	空気加熱方式
 <p>試験ピンがベタベタする</p> <p>オイルのコストがかかる</p> <p>環境への負荷が気になる</p>	 <p>ベタベタしない!</p> <p>コストを削減!</p> <p>環境への負荷を軽減!</p>

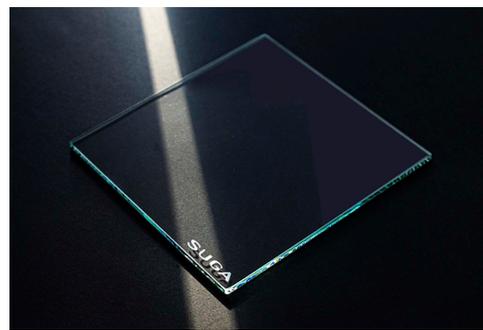
冷却板の正確な温度制御

ガラス板冷却用の冷却板内にセンサーを配置し、付属の冷却板冷却水循環装置(別設置)で水温を制御するため、ガラス板の冷却温度が正確です。



試験面を確認しやすい

試験に使用するフロートガラス板は、錫(すず)引き面とは反対の面を試験面とするため、当社では1枚ずつ試験面を確認し、錫引き面にブラスト加工でマークを付けています。



仕様

	WF-3
加熱方式	空気加熱方式
試験ピン	約外径φ90×190×t3.5 mm 7個(ガラス板用パッキン:約φ106×90×t2 mm)
ガラス板	約110×110×t3 mm 7個
試験温度	60~150°C
冷却板冷却水温度	20~40°C(別設置の冷却板冷却水循環装置が付属)
冷却板冷却方法	冷却水循環方式
外形寸法	試験機本体:約幅79×奥行120×高さ67cm 冷却板冷却水循環装置:約幅65×奥行72×高さ64cm
電源容量	単相100V 約24A
運転質量	試験機本体:約150kg 冷却板冷却水循環装置:約90kg

記録計、タイマー(試験時間設定用)、キャビネット(冷却板冷却水循環装置収納用)、試験ピン内温度センサー(試験ピン内の試験片位置で温度制御が可能)等、各種オプションを用意しています。

試験後の光学測定評価もお任せください!

グロスメーター
GC-1



ヘーズメーター
HZ-V3



可視光線透過率計
HA-TR





www.sugatest.co.jp

スガ試験機株式会社

本社 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-4-14 Tel 03-3354-5241 Fax 03-3354-5275
 名古屋支店 〒465-0051 名古屋市中区社が丘1-605 Tel 052-701-8375 Fax 052-701-8513
 大阪支店 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町3-23 Tel 06-6386-2691 Fax 06-6386-5156
 広島支店 〒733-0033 広島市西区観音本町2-12-11 Tel 082-296-1501 Fax 082-296-1503